

‘18 スリーウェーブ実行委員会ニュース NO.8 2018, 5.21 県医労連

5月19日(土) スリーウェーブ・アピールニ80人が参加!

～和歌山市内で 記念講演会・アピールパレードを実施

本田宏先生が日本の医療行政の遅れを告発、労働組合に期待寄せる

5月19日、昨夜からの雨もあがり、少し冷たい空気が残る中で、スリーウェーブ・アピール行動が開催されました。全県各地から80人が参加しました。

記念講演会では、外科医の本田宏先生をお招きして、日本の医師不足はじめ、医療行政の遅れをわかりやすくお話して頂きました。医師数は先進諸外国の平均に届かず、「偏在」などではなく「絶対的に足りない」ことが指摘され、医師の過重労働の改善を先送りする政府を批判しました。

マスメディアは真実を報道せず、私たち医療関係者が発信していくことが重要だとし、特に労働組合が果たす役割は大きいと、期待を寄せられました。本田先生が勤務されていた病院には労働組合がなく、救急病院で24時間365日、36年間ずっと携帯をもって働いていたご自身を振り返り、労働組合の皆さんを応援したいと話されていました。



主催者あいさつ 佐藤洋一先生



基調報告 日高病院労組 宮本さん

★「医師、看護師、介護職員増やせ～」と元気よくパレードしました。

出発集会では、日高病院労組の宮本さんが基調報告を提案し、全体の拍手で確認されました。最後に、司会の大森副委員長（済生会有田労組）の音頭でコールの練習を行いました。

パレードは、和歌山城を周回するコースで行われました。「医師、看護師、介護職員を増やせ～」などと元気よくコールしながら行進しました。コーラーは、渡瀬副委員長（潮岬病院労組）と、橋本市民病院労組の森田さんがつとめていただきました。ありがとうございました。

